

乗務員への指導・監督の記録

実施月日	令和3年6月15日
時間	8時45分～10時30分
場所	北上本店営業所

非公開

非公開

- 【一般的な指導事項】
- ①事業用自動車を運転する心構え
 - ②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
 - ③事業用自動車の構造上の特性
 - ④乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
 - ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
 - ⑥主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
 - ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
 - ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
 - ⑨交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
 - ⑩健康管理の重要性
 - ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
 - ⑫ヒヤリハット体験の報告やや運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
 - ⑬⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する
 - ⑭非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

指導・教育の内容

1. 事業用自動車の構造上の特性
 バスの死角の大きさ、車高の高さを意識する
 ① 死角が多く歩行者などを見落としやすい
 ② 車高の高さを常に意識する

2. 死角に隠れた危険を見にくい意識を持とう
 ① バスの直前の死角 ② 確認忘れが多い ③ ミラーと目視で確認

3. 高さ制限の標識を見落とさないようしよう
 ① 車高を軽視 ② 高さ制限バーに衝突 ③ 走行中は標識を確認

4. バック時はできるだけ誘導を依頼し慎重にバックしよう
 ① 容易にバック ② 歩行者などを見落とす ③ 自分(他人)の目で死角を確認

※ 6月の安全目標 雨天時の安全運転を指導しよう。

非公開

※この教育記録は営業所で3年間保存すること。

